



6月は「いのちを見つめる強調月間」・・・決して風化させては、いけない！！

今年の「いのちを見つめる強調月間」のテーマは、「人と違うから辛いのではなく、違いを認めないから辛くなってしまうのです。」(ドロシー・ロー・ノルト博士)としました。赴任以来、人はみんな違うのだからお互いに認めていこうという話を事あるごとにしてきました。それをノルト博士はこのようにおっしゃっているのです。著作物も出版されていますので、興味のある方はぜひ読まれてください。

さて、ここ最近、宮城や茨城でのいじめ問題が報道されています。ここでは、詳細については触れませんが、他人事として捉えてはならないと言うことを皆で確認したいと思います。自分の身の回りにいじめをしている人はいないか、されている人はいないか、見渡してほしいと思います。本校では定期的に生活アンケートを実施し、教育相談を行っています。把握できた案件については随時対応していきますが、もしかしたら、表面に出ないけれど深刻な事態に発展しかねない状況があるかもしれません。人の心の中は見えませんが、少しでも心が楽になるような雰囲気作りや相談体制づくりを進めていきたいと考えています

「心を許す、心を許して気持ちを吐露する。」には、相互の信頼関係と安心関係が必要です。その基本は、「親子関係のあり様」です。これは、中学生になったからといって作り出せるものではなく幼少期からの親子関係がどのようなものであったかに尽きます。胎児期にどのような環境で過ごしたか、授乳期にどのような語りかけをしたか、幼少時にいかに人と交わらせたか、いかにその存在を認めてあげたか等々。先日、次のような光景を見ました。あるファミリーレストランでのことです。ある家族が席に案内されました。注文をするまでは変わったところはありませんでした。注文した後は親子ともどもスマホタイム！！誰一人しゃべるものもいなく、スマホをいじっています。料理が来て食べる時も、会話はなくてそれぞれがスマホタイム！！食事終了後もスマホタイム！！これが、今の日本の家族の普通なのでしょうか？私の目には、異常だし異様な光景に映りました。ついにここまで来たか！という感じでした。スマホを買い与えるのは親の責任だし、料金を払うのも親ですが、使い方を教えるのも親の責任です。御家庭のスマホの使い方は大丈夫でしょうか。再確認をお願いします。ノルト博士は言います、「人は家族をつくり、家族は人をつくる」。「家族は、良い時と悪い時を分かち合う、心の港です。」親子関係や家族関係、命や生き方等について親子・家族で再確認する6月にしていただければと切に思います。

6月1日の朝会で、校長講話を行いました。題は「いのちは、誰のもの？」です。「命の大切さ」というあるお母さんと子どもの動画(YouTubeから)を使いました。第二子妊娠中に胎児に異常が見つかり、最後は自然分娩で出産したものの、その子は亡くなってしまうという話です。そのお母さんからのメッセージは「今 いじめや自殺で相次いで 自分で死を選んでしまう子が多いけど どうか考えてほしいのです。みんなは おかあさんが大切に10ヶ月間お腹の中で守り とてつもない痛みと苦しみに耐えて 生まれてきたと言うことを・・・」

「いのちは、誰のもの？」という題の答えは明らかにしていません。これは、子どもたち一人一人が考えてほしいものだからです。各家庭の中で話題にさせていただいて、どうか語り合ってください。答えは人数分だけあると思います。

明日 佐世保市中学校体育大会 開幕 ～6月10日(土)から12日(月)～

明日から3日間、市内各所で佐世保市中学校体育大会が行われます。3年生にとっては3年間の集大成です。苦楽をともにしてきた仲間との最後の戦いです。悔いのないように力を出し切ってほしいと願っています。保護者の皆様におかれましては、御多用とは存じますが、子どもたちへの熱い声援をよろしくお願いいたします。あわせて、観戦場所での駐車、喫煙、応援マナーなど十分に御配慮ください。